

新年度ももうすぐです。ごきげんよう。お願ひします。

桜舞う新しい季節となりました。私も十四山支店職員一同は、笑顔にあふれた親しみのある明るい店舗づくりを目指し、組合員様を始めとしてJAをご利用いただくすべての皆様のお役に立てるよう努力して参ります。

新年度の人事異動により10名の新しい仲間が加わり、6名が異動いたしましたのでご紹介させていただきます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大は一年経っても留まるところを知らず、最近では、変異型ウイルスの感染拡大が心配されるところです。

当店舗におきましても手指除菌のためのアルコールや飛沫防止ボードの設置に加え、常時換気によって新型コロナウイルス感染リスクの低減に細心の注意を払っています。以前のようなマスクが要らない平和な日々が早く戻ることを職員一同、願っています。



支店長  
佐野豊治



副支店長  
齋藤多美



課長補佐  
高橋聖子



金融  
浅田陽子



金融  
立松香織



金融  
杉本寛治



金融  
伊藤万莉



融資  
青木利幸



共済  
小杉由美



共済  
杉浦和徳



共済  
吉田百花



共済  
佐野 守



渉外リーダー  
立原寛之



渉外  
堀田千咲



渉外  
村瀬勝之



広報大使  
れんたろう



共済  
木村幸恵  
弥富支店へ



金融  
堀田千夏  
鍋田支店へ



金融  
飯田雅美  
佐屋支店へ



渉外  
小塚悟史  
北部営農へ



共済  
戸森信行  
立田支店へ



副支店長  
加藤 弘  
市江支店へ

お世話になりました

渉外担当の三名です。  
どうぞよろしくお願いします。  
恒例の新年度インタビューを  
お届けします。

村瀬君のような小顔になり  
たいと常々思っている立原で  
す。小さな顔に憧れます。

ひと昔前、ピリースブート  
キャンプという米国陸軍仕込  
みのトレーニングが流行りま  
したが、最近、自衛隊が訓練  
でやっているトレーニングに  
はまっています。時間があれ  
ば、30メートルダッシュも何  
本もこなしています。

休みの日に、「美女と野獣」  
を始めとしたDisney映画  
を子どもと見るのが、人生の  
ヨロコビです。

ZIN(ニジュー)のメンバ  
ーやダンスが大好きです。彼  
女たちを見てみると、疲れて  
いても元気が湧いてきます。



リーダー  
立原 寛之

新年度を迎え、リーダー立原寛之は佐屋支店から、紅一点  
の堀田千咲は飛鳥支店から、それぞれ渉外担当として十四山  
支店のスタッフに加わりました。また、村瀬勝之は二年目の  
渉外担当としてますます脂がのってきました。この三名の渉  
外担当をインタビューしました。印象的な話題を編集してご  
紹介します。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。



村瀬 勝之

歳の離れた妹は、この四月に  
おかげさまで小学校二年生に  
なりました。ついこの間、ハイ  
ハイをしていたと思っていた  
のに、時の流れの速さに驚かさ  
れます。

最近、シベリアンハスキーの  
赤ちゃんが新たな家族として  
仲間入りしました。家の中で飼  
っています。風間は、一匹でお  
留守番です。暑さが苦手な犬種  
なのですが、今はまだすく小さい  
のですが、成犬になったらどう  
なるのだろうと思います。

キャンプにもよく行きます  
よ。ランタンの中でのほかに揺  
れる明かりをじっくり見つめな  
がら、静かに一杯やるのは至福  
の時間ですね。

サッカー観戦が好きで、特に  
ドイツブンデスリーガで活躍す  
る長谷部選手の大ファンです。

アイドルが好きで、真似して踊  
っては筋肉痛になります。

その昔、東京ディズニーラン  
ドでエレクトロカルパレードを  
見ました。その作りの完璧さ、  
見事さにとて感動して、思わ  
ず号泣したことがあります。い  
ろんな人が力を合わせて一つの  
ものを作り上げていくことに感  
激しました。

休みの日は、稲沢に住む祖父  
母宅へ遊びに行ったり、未婚な  
ので花嫁修業を兼ねて自炊した  
りします。最近、ヘルシーな  
豆腐料理にはまっています。



堀田千咲

### (編集後記)

色あせた写真の中で母が笑ってい  
ます。母の腕の中にはまだ幼かった  
妹。母の右側には微笑んだ二人の若  
い女性。この三人の前で、はにかん  
で立っている幼い私。恐らく、女性  
たちが里に帰る日に、父が記念に撮  
影したのでしよう。

まだ農作業が機械化されていなか  
った半世紀前は、田植え時期になら  
と、住み込みで農作業の手伝いをし  
ていただけの方に作業をお願いして  
いました。毎年、水田に水が張られ  
ると、あの頃を思い出します。

「イジカのお姉さん」と母が言っ  
ていた女性たちは、実は親戚でも何  
でもなくて、今で言う住み込みア  
ルバイトのような感じでした。小学  
校に入った頃、イジカは三重県の石  
鏡のことだと知りました。

こうして、父はたくさんの写真を  
残してくれました。伊勢湾台風で妻  
と子ども4名を含む家族6名全員  
を失った父は、母と再婚して家族の  
笑顔をどんどん記録しながら、新し  
い人生を懸命に生きていたのだらう  
と思います。

結婚して子どもができ、家族が増  
えて、そして成長して巣立っていく。  
一時期一緒に暮らした家族は、いつ  
か必ず別れていきます。だからこそ、  
毎日を当たり前と思わず、感謝の気  
持ちを持ちながら大切に過ごしてい  
けたらと思います。本年度もどうぞ  
よろしく願いします。

### 新人を紹介します

二人にインタビューしました。印象的な話題を編集してお送りします。とても真面目で優秀な二人です。今後ともどうぞよろしくお祈りします。

メイクアップにも何気に興味があって、学生時代にモード学園に通ってメイク技術検定の資格を取りました。お休みの日は、取り溜めたテレビ番組を見たり、お友達と「どうぶつ森」でアバターを歩き来させて遊んだりしています。洋画も見ますよ。最近では、マーベルの作品をよく見ます。



共済 吉田百花

大学ではバンドでベースをやっていました。

学生時代の頃、軽音楽部でバンドをやっていた。ベースを担当していました。解散しちゃいましたけど、ガールズバンド、それもスリーピース三人組のチャットモンチーに憧れてましたね。いざ大学を卒業してしまつと、みんなそれぞれ忙しくて、バンドで演奏する機会もなくなりました。今度、バンドのOGで演奏しようかという話が出ているので、ぜひやってみたいと思います。

（編集発行人）

ナイル川をクルーズしていた時、はるか遠くにきれいな三角錐をしたピラミッドが見えていたのですが、間近で見たときの迫力はすごかったです。私の背丈ほどの石が、はるか見上げるほどの高さの階段状に積み上げられていて、いったいどうしたらこんなことができるのかとても驚いた記憶があります。あちこち行きましたが、バルセロナで見たサグラダファミリアもとても印象に残っています。イングリッシュプレックファーストって、知っていますか。直訳すると「英国の朝食」ですが、実は、私が大好きなティー（紅茶の銘柄の一つ）です。学生時は紅茶部というサークルにいたぐらい、ティーが好きです。

気になることと言えば、新型コロナウイルス禍で、早く打てるのでしょいか。変異株が出てきているので、早く打てるようになればいいと思います。今後ともどうぞよろしくお祈りします。

クフ王のピラミッドを目の前にすると、その大きさも驚くことながら、一つひとつの石の大きさに驚きます。石は途中まで登れたりしますが、両手を使わないとよじ登れないくらい大きな真四角の石を、それも一個2トンを越える280万個の石をどうやって積み上げたのかと、考えてしまいます。三千年前は、タイヤを使った移動手段がなかったと聞くので、砂を濡らしたりして、石を積んだソリとかを移動しやすくしたのかも知れません。

（編集後記）



金融 伊藤万莉

高校では吹奏学部でフルートを吹いてました。

6月、8月、12月の限定企画。JA共済webマイページ、またはJAネットバンクを窓口で登録していただき、画面を確認させていただいた方全員に、ボックスティッシュを一箱プレゼント。両方登録していただくと、何と合わせて2箱プレゼントします。詳しくは、窓口もしくはお電話にて。十四山支店だけのオリジナル企画です。ぜひ一度、お試し下さい。

### その場で試してみようキャンペーン

JAネットバンク、JA共済Webマイページはとっても便利です。

六月十日、店頭にてJAネットバンクとJA共済Webマイページをお手持ちのスマホにインストールするお手伝いをさせていただきました。

JAネットバンクでは、スマホやパソコンから残高確認や入出金照会、振込などができます。また、JA共済Webマイページでは、同様にスマホやパソコンからご契約内容の確認が簡単にできます。いずれも、わざわざ店舗にご来店いただかなくても電波が届くところならば、どこでも大丈夫。この便利さをぜひご体験下さい。

なお、国庫年金振込日に店頭にてインストールしていただくとボックスディスプレイをプレゼントいたします。



十四山支店の店舗移転工事が始まりまし

六月二十八日、南部営農センター旧生活部フロアにおいて十四山支店の店舗移転に伴う内装工事開始に先立ち、安全祈願祭がしめやかに執り行われました。

十四山支店の店舗の移転時期は、来年一月十一日を予定しております。その詳細については、従来からお取引のあるお客様には、改めて別途ご案内をさせていただく予定です。また、「あまの風」やホームページ等においても店舗移転についてのご案内をさせていただきます。



(編集後記)

「多分そいつ、今ごろパフェとか食ってるよ」

休日の朝、よく行くスタバが併設された蔦谷書店で目にした本のタイトルです。なんとというインパクトがあるタイトルだろうかと、思わず手に取った私は、夏の日差しを足元に感じながら、それを窓際のテーブルで読み始めました。日々生活していると、理不尽なことや嫌なことに出くわします。相手の何気ない言葉が気になり、そのことで頭がいっぱいになりたります。考えてもすぐ解決するわけでもないし、その時間が無駄とわかっていても、ついついじつと考え込んで頭から離れない。皆さんはそんなことありませんか？

こちらがモヤモヤと悩んでいても、その原因を作った相手は意外にパフェでも食べて、自分のことなんて何も気にしていないかもしれない・・・。だったら、いちいち相手のことを考えるのはよそう、ということになります。所詮、他人は他人。どうせ変えられないのなら、自分の気持ちの在り様を変えていけばいい。言われたことを気にしているのは自分だけで、言った本人は案外忘れていているもの。そう考えるだけで気持ちは楽になります。

人間関係のモヤモヤの解決法ですね。久しぶりに秀逸な本に出合いました。

(編集発行人)

### 店舗移転にむけて準備中

来年一月十一日の十四山支店移転に向けた工事が、いよいよ始まりました。新店舗にはATMを二台並べて設置するほか、これまでと同様、貸金庫も併設する予定です。

店舗の移転により、金融、共済、営農、購買など、各事業のワンストップサービス化が図られ、JAをご利用いただくすべての皆様の利便性向上に役立つものと思います。

なお、工事期間中は駐車場の一部を作業エリアとして仕切ることから、ガソリンスタンド、菜々耕房などをご利用いただく際には何かとご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。



新店舗へは営農センター正面玄関に入って左手に進んでいただければご来店いただけますが、ここ(矢印)にも新店舗への出入口を設ける予定です。ATMや貸金庫は、こちらからもご利用いただけます。



旧生活部エリアが新店舗予定地となります。大きく開いた自動ドアの奥です。



いよいよ工事が始まりました。たくさんの資材が所狭しと置かれています。



### (編集後記)

「恥ずかしいからもう二度と学校に来ないで欲しい」  
こう母に言い残した私は、翌日に控えた試合のため、校庭の斜め奥にあるサッカー部の部屋に駆け込みました。その日は、午前中に母がとても楽しみにしていた授業参観がありました。グラウンドでドリブルを始める頃、私は母への後悔の想いが大きくなっていくのに気づきました。

「お前んちは、どうしていつもおばあさんが授業参観に来るんだよ」  
友人たちの何気ない言葉はいつも私の心に影を落としました。私は、ただ友人たちの若いお母さんがうらやましかったのです。

伊勢湾台風で一家六名を一度に亡くし、独りぼっちで暮らしていた父親のもとに嫁いで来た私の母は、他の兄弟が次々と独立していく中、実母を支えながら、着物を縫って家計を助けていました。少し前の戦争で同世代の男性の数が極端に少ない時代ではありましたが、縁あって多治見から父のもとに嫁いだ翌年、高齢出産で私を生みました。

私の心ない言葉で母はどれほど悲しい思いをしたのだろうか。あの時の空の色、梅雨の合間の蒸せるような暑さ。写真の中で笑っている母を見るたびに、遠い記憶が昨日のことのように蘇ります。わが子の成長に自分を重ね合わせる時、母の気持ちに痛いほどわかります。

「母さん、ごめんな」ハンドルを握りながら、思わずつぶやきました。

(編集発行人)

新店舗工事は順調に進行中

十四山支店が新店舗として入居する旧生活部エリアは、夏の暑さをものともせず、順調に移転工事が進んでいます。建物の東側からも新店舗へ入ることができるようになりました。



(上) 洗車機の待機場は、今までよりも東側へ若干移動して、分かりやすく緑色で表示しました。



今までは、ただの壁面に過ぎなかった建物の東側部分に新店舗の新たな出入口として大きな開口部を設けました。

今は工事用車両が行き交うこの入口は、ゆくゆくは新店舗への近道として、また貸金庫・ATMへのアクセスルートも兼ねることになります。新しい入口の奥では、重機が入って作業をしています。中では部屋の天井を抜いて頑丈な金庫を建設中。

ぬり絵を完成させて  
色鉛筆セットを手に入れよう。

十四山支店だけのオリジナル企画。当JAのマスコット、れんたろうの塗り絵を窓口にお持ちいただくと、色鉛筆セットをプレゼントします。

なお、色鉛筆セットは、小学生までのお子様、お一人につき一セットとさせていただきますのでご了承ください。



れんたろうの塗り絵用紙は、先月のれんらく袋に入っていますが、窓口にも準備してあります。色鉛筆セットは、数に限りがありますので、なくなり次第、代替品に代えさせていただきます。

JA 共済 Web マイページの登録コード  
支店コードをお忘れなく。

れんらく袋でもご案内の通り、スマホやパソコンからご契約内容の確認が簡単にできるJA共済Webマイページの登録の際には、十四山支店コード(00030)のご登録も合わせてお願いいたします。ご不明な点は共済担当までお問合せ下さい。

(編集後記)

「それはキゲンゼンのものだよ。」  
父はそう言う。鈍く輝いた貨幣が展示されたケースを指さしました。  
小学校生だった私は、名古屋駅前のデパートの催事場で開催されていた古代ローマ展の会場を出た後も、キゲンゼンってこの誰だろうかとずっと考えていました。アスファルトに覆われた名古屋駅前でも、セミの鳴き声とうだるような暑さが続いていた。私は父に聞きませんでした。

「キゲンゼンって南極探検の人？」  
「それはアムンゼン。人ではなくて『紀元前』って意味なんだよ」  
父はそう言う。名鉄デパート最上階の中華料理店龍園で冷えた麦茶をおいしそうに飲み干しました。

私は、この時初めて世界はキリストが生まれた日を基準にしていることを知りました。

この、00前、00後というのは、日本では太平洋戦争を境にした「戦前、戦後」をよく耳にしますが、父にとっての基準日は、家族6名全員を高波で亡くして苦勞の連続だった伊勢湾台風だったのだろうと思います。

あの頃、毎日を懸命に生きていた父の、ほんの少し心に余裕が出てきた時代と重なります。

家族の誰かが誕生日だとか、何かいいことがあったとか、そういう家族にとってのハレの日、みんなでそろって食へに行った遠い記憶。

(編集発行人)

### 新店舗の建設工事が進行中



新店舗の移転工事は順調に進んでいます。九月に入って土間の基礎工事に取りました。分厚いコンクリート基礎を敷設し、その養生と墨付けが終わると、いよいよ頑丈な金庫の設置工事に入ります。部屋の壁や天井もすべてぶち抜いて作業をしているので、とても広々としています。天井には、空調ダクトや電灯を設置していきます。

建物東側に開けた大きな出入口を入ると、こんな感じで大きな空間が広がっています。作業の方が立っている場所に ATM を設置します。その奥のひときわ明るいエリアは、十四山支店の移転後の新店舗となります。工事は着々と進んでいます。

### 伊勢湾台風記録写真展



孤立した家の住民（鯨ヶ地）



記録写真展は、9/13から10/15まで。十四山支店を始めとして、当JA全店舗にて開催しています。

あれからもう六十二年。昨年に引き続き、十四山支店ロビーにおいて、伊勢湾台風記録写真展を開催しています。災害は忘れたころにやってくる。万一の場合に備えて、避難する場所や家族の合言葉など、日頃から話し合っておくことも大切かと思えます。

なかなか水が引かない中、建物の屋根に上って救助を待つ人々。県の資料には鯨ヶ地で撮影されたと記されていました。

「編集後記」  
父はそう言う、また熱いもみ殻の灰の中から美味しそうに焼けたサツマイモを取り出し、すばやく新聞紙ではさんで二つに割ると、その一つを幼い私に渡しました。  
「石焼き芋もうまいけど、もみ殻でじっくり焼いたのも、甘くて美味しいだろう」  
父は、近くにあった竹の棒で、焼けて灰になったもみ殻の中から二つ目の焼き芋を掘り出しながら、笑顔で言いました。  
その昔、秋になると大抵の農家の庭先には、もみ殻の山ができていました。それを田んぼに運んでは、燃やしたりしていました。  
稲刈りは、ちょうどサツマイモが収穫できる季節と重なりました。掘り出して土がついたままのサツマイモは、熱く焼けたもみ殻の中に放り込んでおけば、少し時間はかかりますが、甘くてホクホクした美味しい焼き芋になりました。  
父と焼き芋を食べる日は、いつも真っ青に澄み渡った秋空が広がっていました。よく考えたら、雨の日以外は外で燃やせないのです、それは当たり前なのですが。  
あぜ道の縁に父と腰を下ろし、美味しく焼けたサツマイモを頬張っていた遠い記憶。何十年経っても鮮明に思い出す、父の記憶。  
ところで、皆さんの心に残る秋の記憶は、何の味ですか？

(編集発行人)

### 新店舗の建設工事が進行中

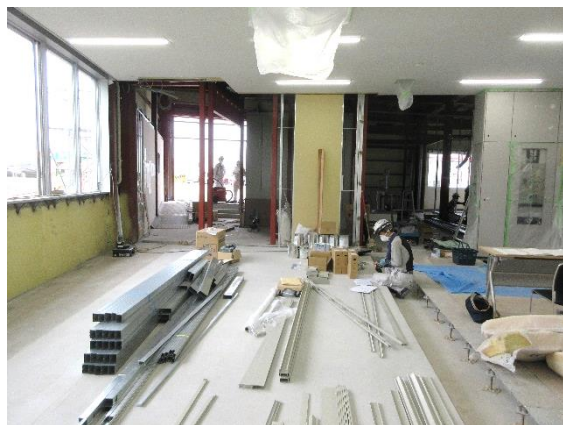
十一月に入り、新店舗建設工事が急ピッチで進んでいます。この度、建物の東側に大きく開けた出入口に自動ドアを取り付けました。ここが新店舗の新しい玄関となります。

来年一月十一日が新店舗のオープンの予定です。これに合わせて、カウンタートップやイスなどの什器備品の搬入、据え付けや関係書類の搬入、整理の準備が始まります。

十四山支店移転オープンを記念して、新店舗前での野菜の即売会など様々な催しを計画しています。これらについては、支店だよりや、「あまの風」などでお知らせして参ります。なお、ATMは一台増設して二台設置の予定です。従来と比べると、待ち時間が少なくご利用いただけるかと思えます。



新店舗の入り口に自動ドアを設置しているところです。入ってすぐ左手に貸金庫、緩い階段を降りるとATMが見えてきます。



フローア-工事も順調に進んでいます。左側開口部はATM、貸金庫の横を通り、新しく開けた出入口へとつながります。右側の奥は金庫となります。



写真ではわかりにくいのですが、奥に見える新店舗には、緩い階段を下りて行くことになります。高低差があるため、壁側には緩いスロープを設けました。



### (編集後記)

秋も深まり、マラソンの季節となりました。十一月七日には熱田神宮から伊勢神宮を結ぶ全日本学生駅伝、お正月には箱根駅伝と続きます。学生時代に陸上競技をやっていたこともあり、私はこの季節になると昔を思い出してソワソワ、ドキドキしてきます。

誰しも体調には波があって、いつも好成绩を残せるとは限らないのが、こつとした競技の見どころでもあり、学生時代、私自身も注意してきたところです。

「ピーキング」と言いますが、大切な試合の日に自分の体を最高のコンディションにもっていかないと、上位入賞は望めません。こうした、本番にピークを合わせる技術を身に着けているか、いないかがとても大切なことだと教えられてきました。特に、陸上競技のように一発勝負のパフォーマンスが要求される競技では、試合の日から逆算して、試行錯誤しながら様々なトレーニングを取り入れ、メンタルも高める必要があります。

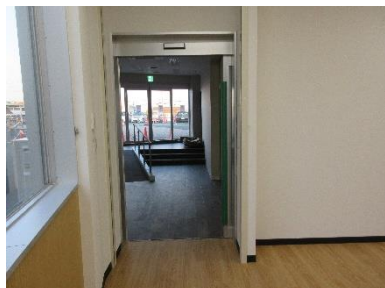
長い距離を走れば長い距離を走るように体が適応し、刺激と回復を繰り返すことで、さらに強くなります。刺激と回復の揺らぎを利用して試合に合わせてベストコンディションにもっていくことが大切です。これは、仕事にもあてはまることだと思います。



### いよいよ新店舗の完成間近となりました

南部営農センター東側壁面に新しく設けた開口部は、十四山支店の入り口となります。先日、自動ドアの上部に新しい看板も取り付けられ、ようやく支店らしい外観となってきました。

暑い夏の始まりとともにスタートした移転工事は終盤を迎えるところですが、実はこれらが大変です。端末を始めとした様々な機器や膨大な資料の移設、これと並行してカウンターなど什器備品の設置作業が待ち構えています。翌年一月十一日のオープンに向け、様々な作業を急ピッチで進めていきます。



(上) 緩いスロープや階段を下ると、新店舗の入口です。その手前には、ATMを二台設置しています。これにより、待ち時間の短縮を始めとした利便性の向上を図ります。



### 大根をプレゼントしました



十一月十八日、窓口に来店された方に採れたての大根をプレゼントいたしました。突然のゲリラ企画でしたが、皆様から大好評でした。

### スマホ教室を開催します



令和四年一月十九日、午後一時半から南部営農センター二階の学び舎にてスマホ教室を開催いたします。ここでは、LINEなどのアプリやインターネットの使い方などをパソコンの講師がご案内します。

参加ご希望の方は、支店窓口もしくはお電話にてお気軽にお申込み下さい。専用チラシもご用意しています。先着十六名様で締め切らせていただきますので満員の際はご容赦下さい。



### (編集後記)

トントントンとネギを刻む音。シュッシュとカツオブシを削る音。高い窓から射しこむ朝日に照らされた、熱い味噌汁から立ち昇る湯気の向こうには、懐かしい父母の顔。先日、探し物をしていて見つけた古いカツオブシ削り器が一瞬で呼び覚ました遠い記憶。懐かしさに胸がいっぱいになりました。

(編集発行人)

いよいよ新店舗が完成しました。

十二月七日、竣工神事を経て十四山支店の新店舗がいよいよ完成、引渡しとなりました。

先日、カウンターの設置も完了し、警報装置、防犯カメラなどのセキュリティ工事と並行して什器備品の据付けや関係帳票などの引越し作業が続いています。

また、金融機関としてセキュリティ強化には万全を期しています。貸金庫についても頑丈な躯体とともに二重、三重の防犯システムを整えて皆様のご利用をお待ちいたしております。

新年一月十一日から十四日まで、新店舗ではガラガラくじを始めとした様々な催しを予定しています。どうぞお楽しみに。



(左) 竣工神事がしめやかに執り行われました。(右端) 貸金庫室は鋼鉄製の頑丈な扉となっております。もちろん完全防水仕様です。



共済コーナーです。ブラインドでプライバシー保護を徹底しています。



2台のATMでご利用いただく待ち時間の短縮を図ります。



お客様フロアは木目を基調として広々としたスペースをとりました。

(編集後記)

「ドンドンドン、こんばんはー」  
その声は窓の外からかすかに聞こえたようでした。凍えるような夜空には星がまたたき、月明かりにすっかり葉をおとした柿の木が黒いシルエツトを浮かびあがらせていました。誰かが雨戸をたたきながら父を呼んでいるようでしたが、そんなことはしよっちゅうでした。その日、幼い私と妹は父の大きな背中にもたれてそろそろ寝入るところでした。

「ちよっと診てくるわ」  
そう言つと、父は布団から出ていきました。しばらくして遠くで玄関の引き戸をあける音がしました。  
「ハルさ、こんな夜分に悪いなあ、婆さんが階段から落ちて胸が痛いって言うものだから」

太平洋戦争中、陸軍軍医だった父を知っている人たちは、遠い病院へ行くよりも、父のところへ来て来ました。父は当初、固く断っていたようですが、目の前で苦しんでいる人をそのままにしておくわけにも行かず、脱臼くらいならそのまま処置していたようです。

骨格や内臓の精緻な図を何も見ずにスラスラと描きながら説明している父の、普段は決して見せない、医師としての顔でした。父は金品などのお礼は絶対に受け取ろうとはしませんでしたし、これは応急手当にすぎないから必ず病院で診てもらおうようにと付け加えていました。

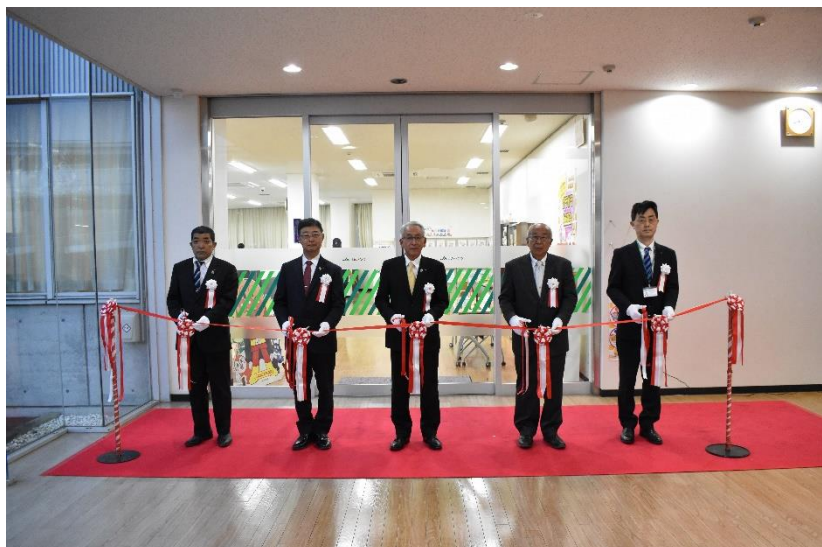
先日、倉庫を片付けていて見つけた肩から胸骨への精緻な骨格図。エンピツ書きのその図が一瞬で呼び覚ました半世紀前の遠い記憶。(編集発行人)

いよいよ新店舗が完成しました。

一月十一日、待望の新店舗の完成披露式がしめやかに執り行われました。今後は新店舗を中心として組合員の皆様やJAをご利用いただく皆様の利便性が更に高まるよう努力して参ります。新しい十四山支店を今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

(左)新店舗前においてテープカットを行いました。向かって左から、児玉理事、中野理事、平野組合長、服部理事、佐野支店長

(右下 2 枚) 旧店舗から新店舗への総勢50名による引越し大作戦の様子です。



(中央) 1月13日から二日間に渡って新店舗移転セールと銘打ち、農産物即売会も合わせて開催しました。風が強くてとても寒い一日でしたが、多くのお客様にお買い求めいただきました。(左下)店舗では、ガラガラ抽選会も合わせて開催しました。



(編集後記)

「当てようとしてるだろ? だったらいつまでたっても当たらないな」

夏合宿に参加していたゼミの友人に用事があった大学の弓道場を訪れた私は、自分がやっていた陸上競技と比べて簡単そうに見えた弓道を舐めていたことに気づき始めていました。28メートル先の、直径36センチの的を外してばかりいる私に、友人はあきれたようにこう言ったのでした。

「大切なものに当てることではなくて、正しく矢を射ることに集中することだな。正しい所作ができていれば、必ず結果もついてくるんだよ」

友人はそう言うのと、私から受け取った長い弓を左手に持ったまま、右手で新しい矢を取りました。太陽が昇るにつれて、鬱蒼とした木々に囲まれた弓道場の空気がだんだん暖かくなっていく感覚を今でも覚えています。

これは30年以上前の学生時代の遠い記憶ですが、「当てようとしているから当たらない」という言葉が、長い間ずっと私の心に引っ掛かっています。

先日、この7年間で売上を3倍に伸ばしたゴディバジャパンの社長シエロム・シュンシャン氏がテレビで語っていた「正射必中」という言葉が、私の遠い記憶を呼び覚ました。

それは学生時代、友人が私に話したことそのものだったからです。自らも弓を射ることを日常に取り入れている社長の、「大切なものは、正しいことに集中すること」という言葉がストーンと腑に落ちました。これからの人生、自分自身の「正射」を極めて、それに集中できたらと思います。

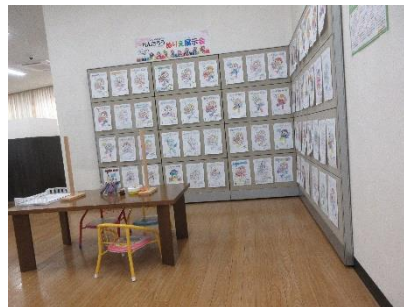
(編集発行人)

### 移転して二ヶ月が経ちました。

一月十一日、十四山支店が子宝地区から鍋平地区に移転し、早くも二ヶ月が経つところです。移転当初の慌ただしさも落ち着き、新しい店舗も順調に動き出しました。

当店舗は、平島地区にも隣接していることから、新しいお客様とのお取引も増えて参りました。また、菜々耕房や営農関係部署も隣接していることから、農協に関連することを一度に済ませることができるといふ、ワンストップサービスのメリットを発揮できるようになりました。

当店舗をご利用いただくすべてのお客様にお気軽にご利用いただけるよう、職員一同、日々努力して参ります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



十四山支店の店舗が入る南部営農センター階ロビーでは、通年に渡り、書道・ちぎり絵・陶芸・アートフラワー・大津絵・パッチワークなど、様々な団体の多様な作品を展示しています。十四山支店にお越しの際は、ぜひお立ち寄り下さい。また、店舗内には、アンパンマンぬり絵コーナーを併設しています。就学前の、アンパンマンにご興味のあるお子様に大変好評です。待ち時間に、お子様とぜひご体験下さい。まだまだコロナ禍は続きそうですが、新店舗においても、検温器の設置とともに換気をこまめに行い、加えてお客様同士が密にならないよう細心の注意を払っています。元通りの日々が早く戻ることを祈るばかりです。

### (編集後記)

「直線はまだよかったけど、右折は緊張したなあ」

そう言つと、友人の父親は沖縄に住んでいた頃を懐かしく思い出したようでした。台北でレンタカーを運転した時のスリリングな体験を友人に話していた時のことです。

友人の父は、その昔、沖縄の日本返還に合わせてクルマもそれまでの右側から左側通行に一晚で変更されたことがあって、翌朝の通勤はかなり怖かったなあと話していました。

ハンドルを握る時は、「右、右」と絶えず意識していないと、無意識に反対車線に出そうになり背筋が凍ったことや、特に右折する時、あれ？どっちの車線に入るんだっけなあ、一瞬わからなくなったことなど、私の体験したことと同じようなことを話してくれました。

よく考えたら、クルマの通行方向が左側、右側と別れているのがとても不思議ですが、歴史的な経緯もあるのだろうと思います。左側通行は、アイルランド、ニュージーランド、オーストラリア、インド、シンガポールなど、イギリスに関連がある国が多く、日本はなぜか同じ仲間ですが、左側通行なのが、いずれも島国ということまで共通していますね。

今年の冬は、特に寒かったような気がしますが、春はもうそこまで。楽しみに待ちましょ。

二年間、編集後記をご覧いただきありがとうございます。 (編集発行人)